

情勢報告

ブルースター疫病対策協議会開催



圃場にて

3月31日にJA土佐あき芸西支所にてブルースター部会員9名、JA、農業技術センター、花き専技、振興センター、計15名の参加で同協議会を開催した。22年度に農業技術センターと振興センターが試験した部会員の圃場で疫病対策現地試験の結果を報告するとともに、次年度に向けた課題解決策を協議した。現地圃場では疫病を完全に抑え込むことはできなかったが、実用上、問題の少ない疫病発生率で食い止めることができ、すでに導入している部会員はもとより皆の関心は高かった。

23年度はさらに疫病対策として、太陽熱処理と地温との影響を調査し、解決策を見出すことを決め、振興センターも関係機関と共同で現地試験を行う。

女性リーダー23年度の活動もバッチリ！



4月13日、安芸・室戸農村女性リーダーの全体会を振興センターで開いた。22年度第5回つどいの反省と23年度の活動計画樹立を出席者7人で検討し、消費者への情報提供と仲間づくりを目指した。振興センターから自分が栽培する作物を消費者に説明ができるような資料づくりを提案し、地区毎でまとめることになった。また、これを第6回つどいで発表すること、野菜メニューの提案とつどい等にしばらく参加していない「ごぶさたさん」を現地訪問することが決まった。振興センターでは、今後も女性リーダーの活動がステップアップするようサポートしていく。

被災地に届け、児童らと田植え(室戸市吉良川)



田ころばしを使った田植

4月14日、室戸市立吉良川小学校など地域の児童・園児ら25名や関係者による田植えが行われた(地区公民館主催)。農家や振興センターによる稲の栽培や実際の田植え方法の説明の後、児童らは冷たさの残る田に素足で入り、用意されたモチ米の苗を一株ずつ丁寧に移植し、農作業の苦勞と面白さを体験した。収穫は児童らにより8月に行われ、餅つきの後、東日本大震災で被災した小学校や保育園に送られる予定。

振興センターでは、今後とも地域の催し等にかかわることにより、農業の大切さ、面白さ等をPRしていく。